



多読教材『KCよむよむ』の開発と 多読授業の実践

—司書と教師の協働から—

2018年3月24日（土）日本語プロフィシエンシー研究学会

東 健太郎 Kentarou_Azuma@jpf.go.jp
(国際交流基金関西国際センター)

(1) はじめに

国際交流基金関西国際センター (KC)

- 日本語研修施設として1997年に設立
- 海外の日本語学習者、日本語教師、文化・学術専門家、外交官・公務員などを招聘しての日本語研修を実施
- 図書館は研修参加者の日本語学習・研修活動をサポートするための参考書や、日本を紹介する資料を多言語で収集し提供



(2) 多読実施までの経緯



対訳資料や絵本

KC図書館



やさしい読み物が欲しい

学習者からの要望

2006年 特別コーナー設置



『レベル別日本語多読ライブラリーにほんごよむよむ文庫』（アスク出版）購入

http://tadoku.org/learners/book_ja



どう活用??

司書

(2) 多読実施までの経緯



国内・海外での多読の実践

2014年

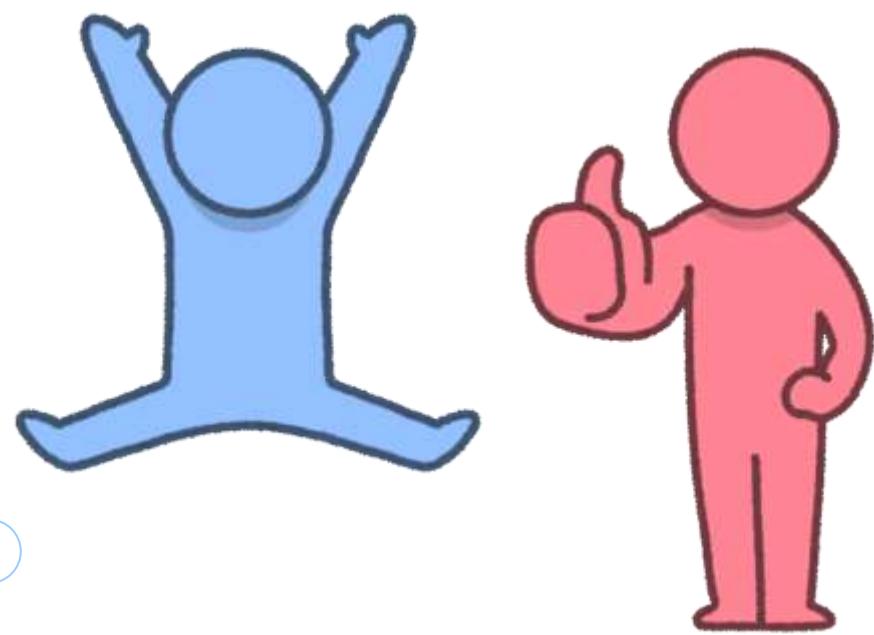


教師

多読やりましょう!



司書



多読イベントの企画



本を味わって
読んでもらいたい



Yom Yom Salonの開催決定

(3) Yom Yom Salon開催

Yom Yom Salon

- 図書館で開催する多読イベント
- 「**本を味わって読んでもらいたい**」との思いから英語の“yum yum”と“読む”をかけて**Yom Yom Salon**
- 2014年は月に1回、2015年は月に2回開催
- 研修生は誰でも参加可能、毎回10名程度が参加



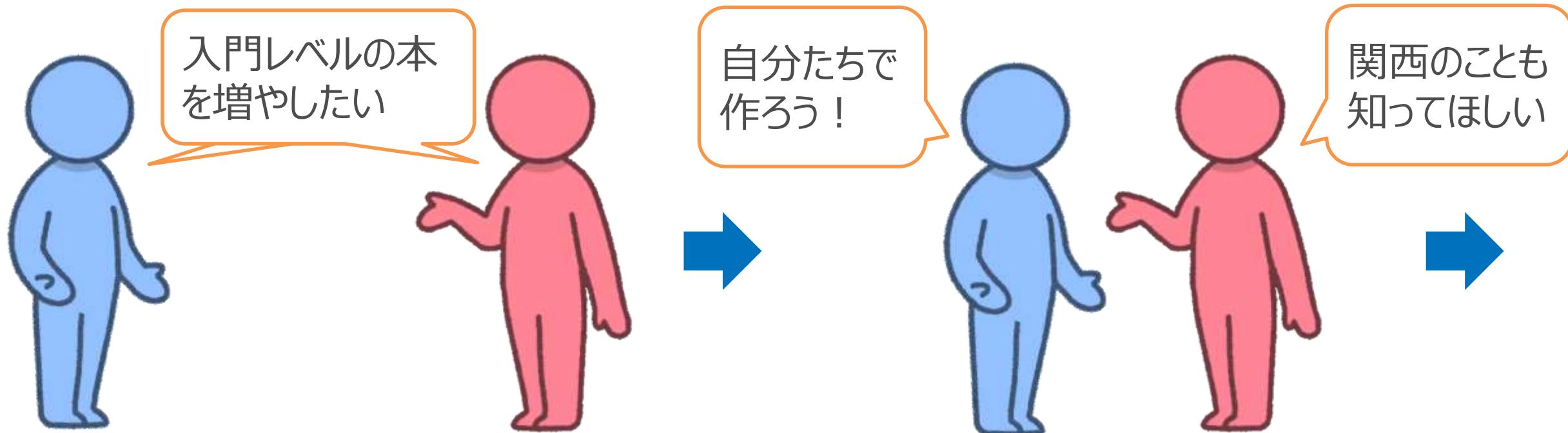
(3) Yom Yom Salon開催

多読の4つのルール

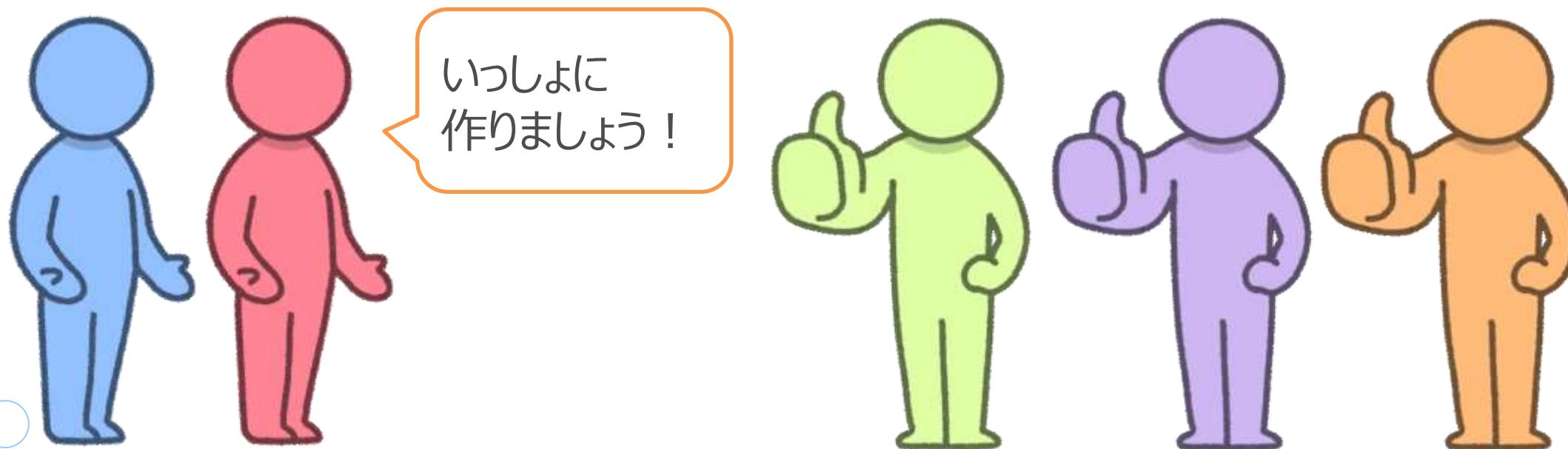
- 1) やさしいレベルから読む
- 2) 辞書を引かないで読む
- 3) わからないところは飛ばして読む
- 4) 進まなくなったら、他の本を読む



(4) KCよむよむ制作



Yom Yom Salon開催後



教師から有志を募ったところ14人が参加

(4) KCよむよむ制作

KCよむよむ

- KC制作の多読用図書（現在26冊）
- 制作時に留意した点
 - 1) 日本の生活と文化、特に関西に関連するトピックを扱うこと
 - 2) 表現や語彙は『まるごと 日本のことばと文化』に準ずること
 - 3) イラストや写真はフリーのものを使用するか、自前で準備すること
- KCクリップ (<http://jfkj.jp/clip/yomyom/index.html>) で公開



(4) KCよむよむ制作

多読教材の作成方法

ステップ1 テーマを決める

例) 国や町の紹介、昔話、学習者や教師の体験、授業で扱った日本文化・習慣

ステップ2 執筆する

語彙・文法 : 一定の基準を設ける。未習語は最小限。写真から推測できるよう配慮

語彙数・字数 : レベルに応じて目安を設定。

挿絵・写真 : 1ページに1つか2つ。著作権に十分留意。

その他 : 文はなるべく短く、簡潔に。自然な日本語を心がける。

漢字には全てふりがなをつける。

(4) KCよむよむ制作

多読教材の作成方法

ステップ3 製本する / PDF化して共有

① 本を書く



② まとめて印刷 (2アップ) 設定



③ 印刷



④ 2つに折りホッチキスで留める



できた!

Extra コメントシートを付ける



(5) Yom Yom Classの実践

Yom Yom Class

- 2016年より外交官・公務員研修の選択科目として開講
- A1学習後の4か月間、週に1回（50分）
- 2016年度は29名が受講し、計883冊を多読
- 2017年度は31名が受講中
- 成績表には多読記録を明記
- Facebookグループで情報共有
- エッセイコンテスト開催



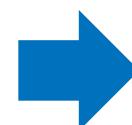
(5) Yom Yom Classの実践

多読授業の流れ

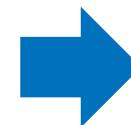
準備 本を並べる



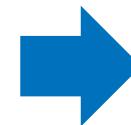
① 多読のルール確認 / 著者朗読



② 本を選ぶ



③ 好きな場所で自分のペースで多読/多聴

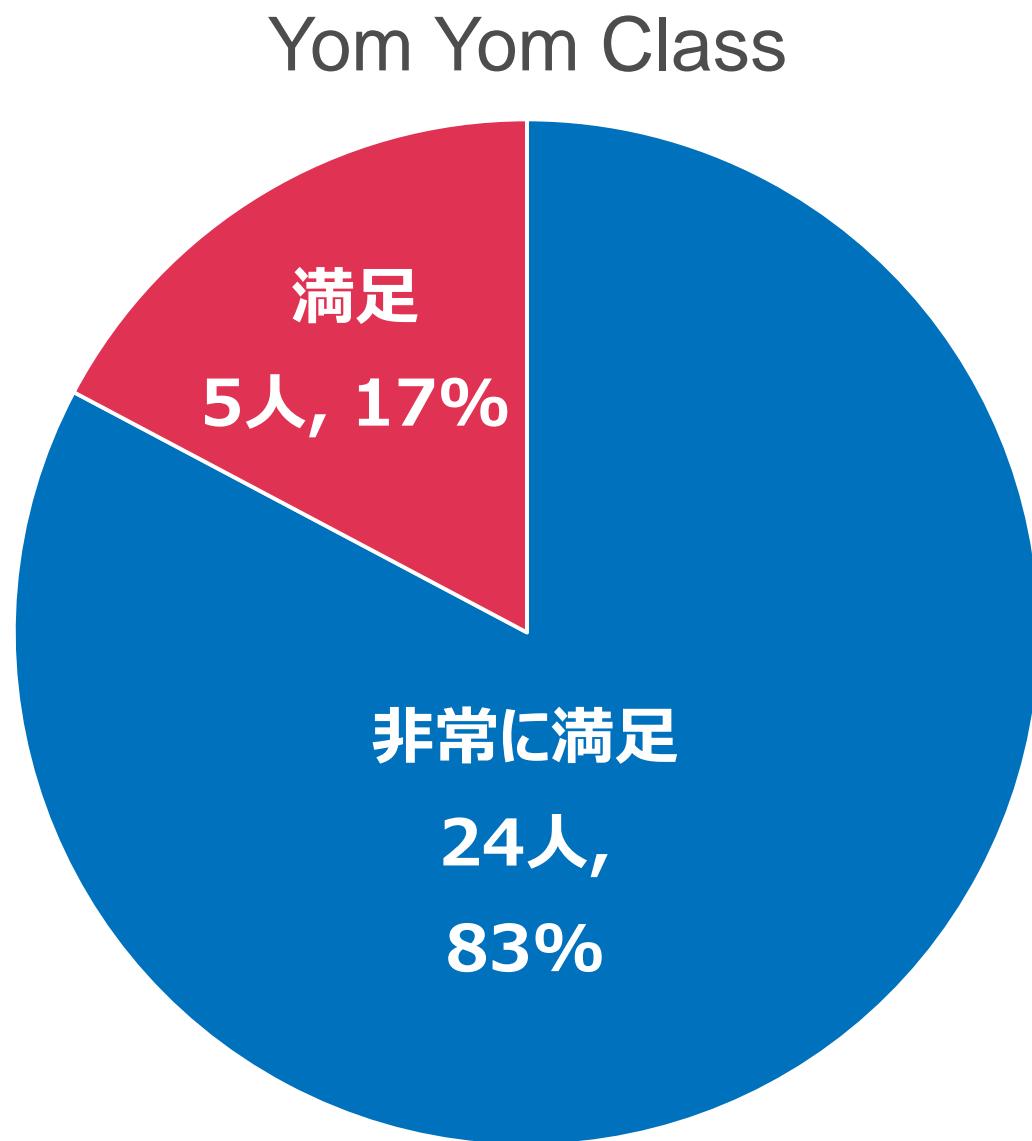


④ 多読記録シート・コメントシートに記入



(6) 多読授業の効果

アンケート調査結果



(6) 多読授業の効果

アンケート調査結果（一部抜粋）

- CDを聴きながら読むことで話す力が向上した。
- 多読を楽しめた。日本語の理解度を確認するのに非常に有効。
- より速く読み、漢字をよりよく理解できるようになった。また、レベル別の本を読むことで、クラスで学んだ文法を練習することができた。
- 本当に楽しめた。自由を与えられて、多読について学び、練習できた。多読のルールは非常に良いと思う。
- 最後には読む力が上がったことを実感できた。

(6) 多読授業の効果

アンケート調査結果（一部抜粋）

- Yom Yom Classは読む力、書く力、話す力を高めるのに役立つ。今後もぜひ継続してほしい。
- 読書と語彙学習のために非常に役に立った。短くて、すばらしいストーリーが多かった。
- 飛ばし読みや、語彙の意味を推測する技術を高めるのに役立った。
- 読むだけでなく、自分でも書いてみたいと思った。

(6) 多読授業の効果

アンケート調査結果 まとめ

- 多読授業に対する満足度の高さ
- 自律的な多読への取り組み
- 楽しみながら多読
- 日本語力（読む力、書く力、話す力、推測する力）の向上を実感



(6) 多読授業の効果

教師が感じた変化



- 日本語を読むことに対する恐れがなくなった
- わからない言葉、漢字があっても推測して読める
- 読む力、書く力、話す力が伸びた
- 語彙が増えた

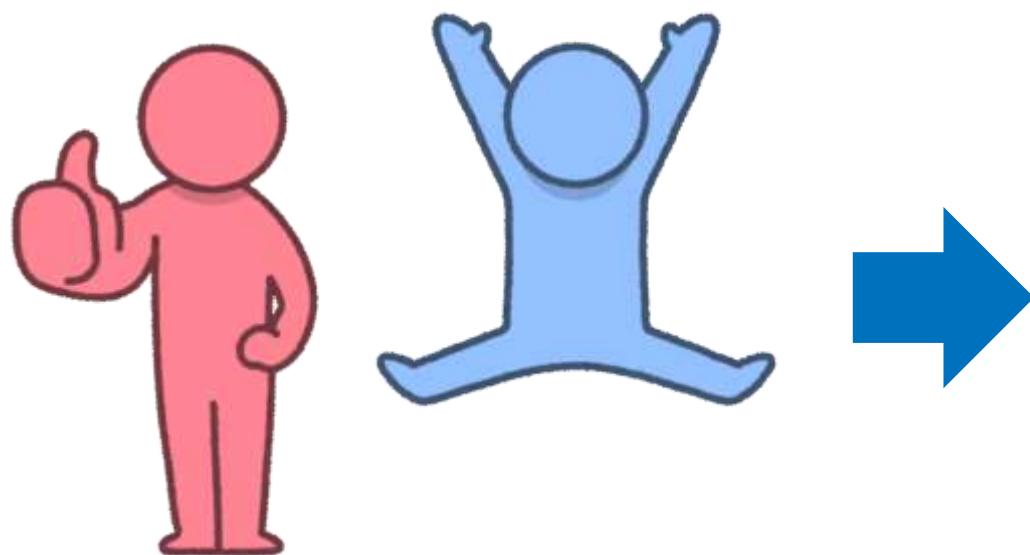
司書が感じた変化

- 学習者の要望に応えることができた
- 来館者数、貸出冊数の増加
- 読んだ本の感想や、自国の場合はどうか話す機会が増えた
- 他の教師の関心が高くなった



(7) まとめ

図書館司書と日本語教師の協働から生まれた実践



参考資料

- NPO多言語多読2006『朗読CD付 レベル別日本語多読ライブラリー レベル0 vol.1 (にほんごよむよむ文庫)』アスク出版
- 栗野真紀子、川本かず子、松田緑2012『日本語教師のための多読授業入門』アスク出版
- 東健太郎2016『日本語教育通信 授業のヒント 入門・初級レベルのオリジナルの「本」を作ろう』国際交流基金日本語教育通信